

紀要掲載のための学会発表抄録募集のご案内

平成 23 年 11 月 21 日
事務局

拝啓 時下、会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、平成 24 年 4 月に発刊される紀要に掲載するため、平成 23 年度開催の学会において、発表された方の抄録を募集しています。下記の書式で、次のメールアドレスに送信して下さい。

専用アドレス：fukuist-kiyou2011@team-st-fukui.com

件 名：紀要用学会発表抄録（氏名）

締め切り：平成 24 年 1 月 10 日(火)

皆様の業績をもれなく掲載していきたいと思っております。なお、以下の書式が守られていない場合、訂正をお願いすることがございます。お忙しいこととは思いますが、ご理解のうえ、ご協力をお願い申し上げます。

敬具

演題名	MS 明朝 フォント 12
発表者名	MS 明朝 フォント 10.5 共同演者名も記載（施設ごとに上付きで番号明記）
本文	MS 明朝 フォント 10.5
余白	上 35 mm 下 30 mm 左 30 mm 右 30 mm
行数・文字数	行数：36 行 行送り：18pt 演題名・発表者名・本文を含め、全体で A4 一枚以内
その他	本文小項目は【】内に記載 句読点、かぎかっこ、中央点は全角「、」「。」「・」 数字・英語はすべて半角

<見本>

当施設における誤嚥性肺炎予防・経管栄養にならないための取り組み

小島育子¹⁾ 土肥知博¹⁾ 竹沢真奈美²⁾ 三浦豊章³⁾ 小林康孝³⁾

特別養護老人ホーム 新田塚ハウス 医務室¹⁾、新田塚ハウス 栄養科²⁾

福井総合病院 リハビリテーション科³⁾

【はじめに】介護保険施設において、経口移行・経口維持加算が導入され、嚥下に対し高い評価が求められている。当施設では、常勤の言語聴覚士（以下、ST）2 名を中心に施設全体で誤嚥性肺炎予防・経管栄養にならないための取り組みを行っている。今回、その結果について報告する。

【対象・方法】①ST 介入前の平成 10～12 年の 3 年間と介入後の平成 13～18 年の 6 年間の誤嚥性肺炎発症率と死亡者のうち誤嚥性肺炎死亡者の割合を比較した。②ST 介入前の 3 年間と経管栄養にならないための取り組みを行う前の平成 13～16 年の 4 年間と・・・